

国語科学習指導案

日 時 令和4年5月27日（金）公開授業Ⅰ
学 級 岩手大学教育学部附属中学校
3年B組 33名
会 場 2C2D 教室
授業者 三 上 潤 也

1 単元名

文学×Review ～村上春樹「バースデイ・ガール」の魅力～

2 単元について

(1) 生徒観

本単元では、中学校学習指導要領国語、国語科第3学年の目標「(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。」ために「オ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。」を学習する。

第3学年135名に対し、読書についてのアンケートを行った。「読書は好きか」という質問に対して83.8%の生徒が肯定的な回答をした。しかし、国語科の学習との結びつきについての質問では肯定的回答が少なく、「国語の学習における読みと『読書』は同じ行為だと思いますか」という質問に対して、56.9%の生徒が「(どちらかといえば) 同じ行為だとは思わない」と回答した。理由として「授業より個人的な読書は自由度が高い。」「自分の解釈や読み方で読書を楽しみたい」という考えを多くの生徒がもっているということも分かった。義務教育最終段階において、生涯にわたって読書を通して自己を向上させる生徒の育成に向け、言葉による見方考え方を働かせた国語学習での読みを、自己の読書生活に生かせるような生徒の育成を目指したい。

また、「読書の在り方の変容」について問う質問では、「インターネット上の情報の方が便利なので、読書をする人は減る」「ネット上で『オススメの本』などの表示がある本を購入する人が増える」「reviewを頼りに選書を行う人が増える」という回答が目立った。様々な情報が簡単に手に入り、無意識に多くの情報を受け取らざるを得ない現代社会において、読みを自身だけで確立させていくのは困難である。一人一台端末時代における読みの確立の過程では、見知らぬ他者の読みや解釈を取捨選択しながら、より良い読みを練り上げていく力が求められる。今まで自己の生活経験や読書経験、教室という限定された学習集団の読みを交流させながら確立していた段階を超えて、これからの時代は、インターネットに溢れている知らない他者の読みや解釈を評価し、自己の読みを確立させていかなければならない。

本単元ではインターネット上にあふれている review を批判的に評価し、文章の内容を吟味したり検討したりすることで読みの構築を図りたい。また、村上春樹が表現した「人生における幸せ」を考える経験を通して、読書の意義を実感させる学習を展開したい。

(2) 学習材観

中心学習材 『バースデイ・ガール』村上春樹（「伝え合う言葉 中学国語3」教育出版）

補助学習材 読書コミュニティーアプリ「読書メーター」

小説『バースデイ・ガール』は、村上春樹の翻訳作品集『バースデイ・ストーリーズ』（中央公論社）に収められた書下ろし短編小説である。二十歳の誕生日を迎えた「彼女」が、アルバイト先のオーナーから誕生日プレゼントとして一つ願いを叶えてもらった思い出を、「僕」に対して話すという内容である。思い出の聴き手でもあり、本文の語り手でもある「僕」視点で描かれている。最後まで「彼女」の「願い事」の具体的な内容は明らかにされず、読者の読みにゆだねられている部分が多い。読み手が主体的に作品の世界を読み解こうとすることで、人生における選択の意義を考える機会となる作品である。

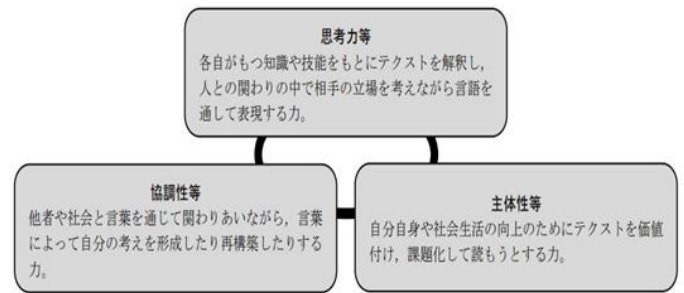
読書コミュニティーアプリ「読書メーター」は、読んだ本の review を自由に交流したり、自分の読んだ本を記憶したりできるアプリである。アプリ内の review を批判的に分析したり、自ら分析結果を review として公開したりすることで、学級という学習集団の枠を超えた読みの交流を図るために使用する。

(3) 教科研究との関わり (指導観)

本校国語科では育成を目指す思考力等・協調性等・主体性等を右のように整理している。その育成のためにどのように指導を展開していくかを以下に示す。

①主体的・対話的で深い学び

本単元の言語活動は、探究課題「村上春樹『バースデイ・ガール』の魅力とは?」について自分なりの考えをもってプレゼンテーションを行うことである。考えを形成する過程で、インターネット上にあふれている review を自由に読み、本文の表現や内容と比較して本当に確からしいものか分析を行う。また、読書コミュニティーアプリ「読書メーター」において自由に分析結果を公表し読みの交流を図る。探究課題を自分の読みで解決する過程を見通し、学習したことを整理したり統合したりしながらゴールに向かう単元学習の中で、自ら学びに向かう粘り強さや調整する力を養いたい。学習者は読みを形成する過程で、テキストとの対話、他テキストとの対話、教室の他者との対話、教室外の読みとの対話を経験する。多くの対話的学習を通してより多面的多角的な読みを形成させたい。様々なテキストの読みを通して、読書や生き方について自己の考えを形成させることをねらいとする。



②ICTの効果的な活用

一人一台端末が整備されたことで、国語科における学びの形態も変化していく。今まで文学の学習において、インターネットに溢れている他者の読みに触れることは忌避されてきたきらいがある。自分の読みを形成する過程で他者の読みを知ることは、「正解に触れてしまう」という意識が指導者にあり、自己、あるいは教室という限定された学習集団のみの対話を通じた学びが展開されてきた。しかし実際の読書活動においては、インターネットに溢れている情報を得て選書したり、読んだ結果を自由に交流したりすることが当たり前に行われている。昨今、小説やマンガなどの様々なジャンルの本の内容や伏線、疑問、矛盾などに対して考察を行う本やインターネットサイトが流行している。実社会においては、インターネット上にあふれる他者の読みに触れることが多い。指導者が情報を制御して学習を展開するよりも、溢れる情報を自分なりに評価したり、確かめたりしながら取捨選択していく活動を展開することで、読みの思考力の育成を図る。また、クラウド上での自由な交流を通して、主体性や協調性の育成を促進することをねらいとする。

3 単元計画

(1) 単元の目標

【知識及び技能】

- ・自分の生き方や社会の関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。((3)オ)

【思考力、判断力、表現力等】

- ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。
(C(1)イ)

【学びに向かう力、人間性等】

- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。

(2) 本単元における言語活動

探究課題「村上春樹『バースデイ・ガール』の魅力とは?」について自分なりの考えをもってプレゼンテーションを行う。

(関連：【思考力・判断力・表現力(2)ア】)

(3) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の生き方や社会の関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ)	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)	複数の情報を根拠にしながらか学習課題に対する考えを何度も練り直してまとめて、積極的に伝え合おうとしている。

(4) 指導の計画 (○形成的評価 ●総括的評価)

次	時	学習活動	評価の観点			【評価方法】
			知技	理解	態度	
一	1	(1) 単元の探究課題解決の見通しをもつ。 (2) 村上春樹について理解する。 (3) 探究課題の仮説を立てる。				(学習課題) 「村上春樹『バースデー・ガール』の魅力とは？」について仮説を立てる」に対して考えをまとめている。【単元シート】
	2	(1) 仮説を共有して単元の計画を見通す。 (2) Jamboard で人物設定を捉える。 (3) 文章の構成や展開を捉える。 (4) 探究課題に対する仮説を更新する。				
	3	(1) プレゼンテーションのルーブリック(評価規準)を共有する。 (2) 「語り」に着目して文章の展開や構成を捉える。 (3) 探究課題に対する仮説を更新する。			①	(学習課題) 「この作品の「語り」は誰か？」について、「語り」に着目しながら本文を読み、作品の構成や展開を捉えている。【単元シート】
以降、「読書メーター」やインターネットの review の閲覧を許可し、自己の課題解決に生かす。						
二	4	(1) 「読書メーター」にログインし、自分の仮説を投稿する。 (2) 「願い事」について考える。 (3) 「願い事」について根拠を集める。			●	(学習課題) 「「僕」と「彼女」のやりとりから「願い事」を考える。」について叙述や review を根拠に考えをまとめている。【単元シート】
	5 本時	(1) 仮説を交流する。 (2) 「願い事」について議論する。 (3) 「願い事」について自分の考えをまとめる。		①		(学習課題) 「彼女の「願い事」とは何か？」について、複数の情報を根拠にししながら内容を捉えている。【単元シート】
三	6	(1) 「村上春樹『バースデー・ガール』の魅力とは」について考えをまとめて発表する。 (2) ルーブリックに基づいて相互評価をする。	①	●		(学習課題) 「村上春樹『バースデー・ガール』の魅力とは？」について考えを発表している。【言語活動】 (映像)
	7	(1) 単元の振り返りを行う。 (2) 読書の意義について交流する。	●			(学習課題) 「読書の魅力とは？」について単元を振り返りながら学級で交流し、読書について自分の考えをまとめている。【単元シート】

4本時について (5/7)

(1) 指導目標

「review」や他のグループの考えを批判的に評価しながら「願い事」の内容について議論し、文章の展開や登場人物の言動の意味について考えさせる。

(2) 評価規準

【思考・判断・表現】

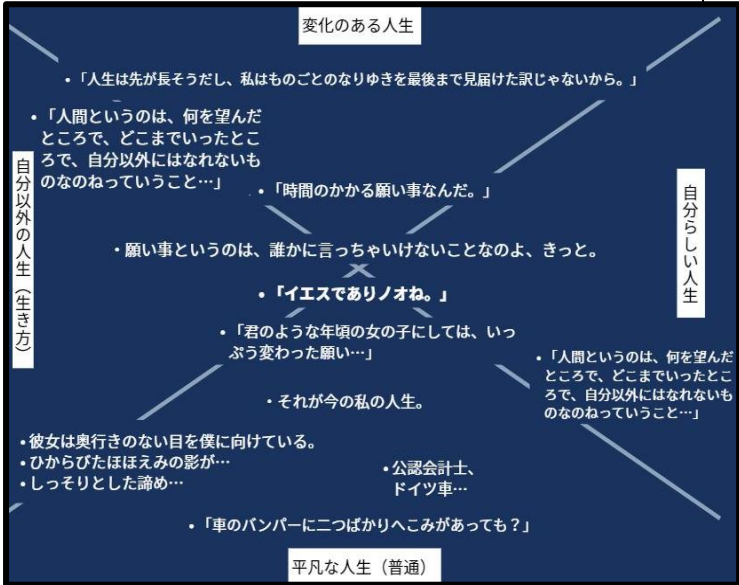
「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)

(3) 授業構想

学習者は登場人物の把握と物語の視点について自分なりの読みの構築をしている。「読書メーター」において様々な他者の読みを目にしている。本時は、本文の中で「彼女」が願ったことについて、叙述、既習内容、review を根拠にししながら、議論を通して吟味したり検討したりすることをねらう。展開では、ロイロノートの共有ノートや回答共有した提出箱を用いて自由に意見を交換したり、考えたことをまとめたりしながら、①どこに「ズレ」があり、なぜ「ズレ」しているか。②論理的に納得できるか、筋道が通っているか。③根拠とされている review は適切か、矛盾はないか。という視点で他グループに質問したり意見したりすることで主

体的・対話的で深い学びを目指す。終末は、自分なりの結論付けを行い、読みの変容について振り返り、探究課題である「バースデイ・ガール」の魅力のプレゼンテーションに向けた見通しをもたせたい。

(4) 本時の展開

階	学習内容および学習活動	時間	・指導上の留意点 ○評価
導入	1. 前時までの学習を振り返り、探究課題の仮説と「願い事」を交流する。 2. 考えの差異を確認して課題を共有する。	1 1 3	・「願い事」について、対立した意見を提示して、課題解決の意欲を喚起する。
展開	<p>学習課題「彼女の「願い事」とは何か？</p> <p>3. 課題に対する自分の考えをグループのメンバーに発表する。 【学習活動3における 考えと根拠となる叙述】</p> 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・「ロイロノート共有ノート」を用いて話し合う。 ・グループごとに、「願い事」について話し合う。 ・議論の中でどこに「ズレ」があり、なぜ「ズレ」ているのか考えてメモするように促す。 ・本時のねらいに迫る質問を指導者ではなく、生徒自身から引き出せるように机間巡視を通してグループの考えの差異を見取る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※議論のきっかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこに「ズレ」があり、なぜ「ズレ」しているか。 (結論、根拠の種類、根拠の内容、根拠と結論) ・論理的に納得できるか、筋道が通っているか。 (根拠は適切か、複数で多角的か、推論に無理はないか) ・根拠とされている review は適切か、矛盾はないか。 </div>
	<p>4. 考えを学級で交流し、全体で議論する。※ 【学習活動4における根拠の種類】 ①叙述(上記) ②既習事項(構成や展開、人物、語り) ③review</p> <p>5. 課題に対する考えをまとめ、ペアで交流する。</p>	20 5	<ul style="list-style-type: none"> ・グループをランダムに解体し、考えの交流を図る。
終結	<p>6. 学習の振り返りを行う。 視①学習前と学習後での変容、②変容の理由(不変の理由)、③発見できた魅力</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>記入例 学習前は「変化のある人生」を願ったと考えていたが、学級での議論を経て「平凡な幸せ」を願ったのではないかと考えるようになった。(1)諦観ともとれる叙述や、今の人生に後悔していると読める発言、どこかで変化を願う「彼女」の心情から考えが変わった。また、(2)願いが何ひとつない「僕」と対照的に描かれる「彼女」の叙述から、「願った」ことへの後悔が感じられた。「平凡な幸せ」のグループの(3)review も「彼女」が人生に諦めや後悔を感じている叙述を根拠にしている納得できるものが多かった。</p> <p>「願い事」について明確に書かれることがなく、その実態が読み手に委ねられていることにより、読者の想像が広がる仕掛けが魅力だと思う。明確に「願い事」詳細は語られることはないが、登場人物の言動や展開を頼りに考える余地があることで、読み手</p> </div>	8	<p>○【思考・判断・表現(C(1)イ)】</p> <p>(1) 複数の叙述 (2) 既習事項 (3) review</p> <p>以上三種類の根拠から推論して結論付けている。</p>
	<p>7. 次時の学習の見通しをもつ。 村上春樹「バースデイ・ガール」の魅力に迫る</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ・読書メーターへの投稿を促す。 ・ループリックを再提示する。

5 参考文献

- 田村学 (2020) 『深い学び』 株式会社東洋館出版
 田村学 (2020) 『授業を磨く』 株式会社東洋館出版